

2009年10月26日

報道関係者各位

チーム医療推進協議会代表  
日本放射線技師会会長 北村 善明

＜病院で働く医療専門職13団体と患者会が初めて結集！＞  
「チーム医療推進協議会」第2回会議開催（公開）のお知らせ

開催日時：10月28日（水）17時～19時（予定）

開催場所：日本放射線技師会・会議室 TEL.03-5405-3612

（JR浜松町駅直結 世界貿易センタービル31階）

\*当日は17時～15分間、協議会発足の目的・意義、活動の趣旨、活動実施計画に関するメディアブリーフィングを行います。

医療の現場では、1人の患者に多職種が連携して医療を行うという「チーム医療」の概念が定着してきました。とくに、がんや脳卒中などの治療や療養では、長期にわたって患者の生活や人生を大きく左右することから、さまざまな職種の視点と専門識のアプローチが必要になります。

近年、各医療施設のホームページには、チーム医療を実践していると強調されているものの、治療の受け手である国民にはどんなことをしているのか、ほとんど知られていません。とくに、チーム医療のメンバーには医師・看護師以外にはどんな職種がいて、どんなときに、どのようなサポートをしてくれるか、わからないと言います。実は、病院内でも同じことが起こっています。お互いの職種内容についてぼんやり予測できるという程度の状況、つまり、サッカーで例えればポジションの役割は知っていても、そのチームのメンバー選手にはどのようなテクニックやスキルがあるのか、あまりよく知らないという声が聞こえています。

そこで国民のみなさんにチーム医療を形づくるメディカルスタッフについて知ってもらうとともに、「患者中心の医療」実現に向けてさらなる協働を目指すために、各職能団体が集まり「チーム医療推進協議会」を発足させました。第1回の会議では組織作りの話し合いを持ちましたが、今回第2回会議では、チームを形成するメンバーの相互理解を深めるため、「チーム医療における各職種の仕事内容と問題点」について参加団体がスライドを使用しながら発表いたします。

本会議は公開致します。傍聴をご希望される方は事務局担当の木村までお申し込みください。

- ・会議内容 参加団体各職種の仕事内容と問題点についての発表
- ・協議会参加団体 日本医療社会事業協会（医療ソーシャルワーカー）  
日本医療リハビリテーション協会、日本栄養士会、日本言語聴覚士協会  
日本細胞診断学推進協会細胞検査士会、日本作業療法士協会、  
日本診療情報管理士会、日本病院薬剤師会、日本放射線技師会、  
日本理学療法士協会、日本臨床衛生検査技師会、日本臨床工学技士会、  
患者会・山梨まんまくらぶ、日本病院会（オブザーバー）

お問い合わせ、傍聴のお申し込み

社団法人日本放射線技師会事務局担当 木村由美

FAX.03-5405-3613

Email:

kimura@jart.or.jp